



St.Hilda's School

香蘭女学校

中等科・高等科

データブック 2024



St.Hilda's School

香蘭女学校

中等科・高等科

〒142-0064 東京都品川区旗の台6丁目22番21号

TEL : 03-3786-1136

<https://www.koran.ed.jp/>



香蘭女学校入試広報室

QRコードをスキャンするとLINEの友だちに追加されます。

*Come in to Learn,
Go out to Serve.*

Come in to Learn, Go out to Serve.

「来たりて学べ、出でて仕えよ」

Miss Lucy Katherine Tanner

ミス L.K.タナー

1874 (明治7) 年4月17日～1975 (昭和50) 年1月28日



1903 (明治36) 年、来日。1911 (明治44) 年7月、ミス H.ニューマンの後を継ぎ、香蘭女学校に着任。教頭を務め、その後、副校長となる。長く寄宿舎館長を兼務した。副校長の責務を果たす一方、聖書、英語や音楽の授業を担当した。また、ガールガイドの本部を香蘭女学校内に置き、全国の団の指導にあたる基礎をつくり、日本女子補導団への発展を支えた。日英関係の悪化にともない1940 (昭和15) 年12月23日、帰英。帰英後も交流は続き、木曜日の礼拝では特に香蘭女学校のことを憶えて祈りをささげられていたという。まもなく102歳を迎えようとしていた1975 (昭和50) 年1月28日、永眠。

「Come in to Learn, Go out to Serve.」はミスL.K.タナーが語られていた言葉である。

CONTENTS

香蘭女学校の教育	2
有為な女性を育む香蘭女学校の教育	3
香蘭女学校の6年間	6
香蘭女学校の1年間	8
香蘭女学校の1日	13
カリキュラム・SEEDプログラム	14
教科教育	16
海外研修、国際交流・語学研修	20
ICT教育	22
学習サポート体制	24
ライフデザイン	26
聖公会関係校推薦	27
進路結果・主な指定校推薦	28
卒業生の声 ～132回生～	30
部活動	32
安全対策	33
学校説明会／ 公開行事／中等科入試結果／学費	34
募集要項抜粋	35
Q&A	36
アクセス	39
Come in to Learn, Go out to Serve. 「来たりて学べ、出でて仕えよ」 ～卒業生からのメッセージ～	40

香蘭女学校の教育

校長 鈴木 弘

香蘭女学校は、英国聖公会から派遣されたE・ピカステス主教によって創設された特別伝道団 聖ヒルダ・ミッションの諸事業の一つとして「女子の教育」のために建てられたミッションスクールです。1888（明治21）年創立以来130有余年に渡り、本校はキリスト教の信仰に基づく全人的な女子教育という伝統を守り続けてきました。このことは、英国の修道女であった「教育の聖人」聖ヒルダの名を戴いたSt. Hilda's Schoolという欧名に象徴され、また、女子に教育機会が与えられなかった創立当時から現在に至るまで1万人を超える卒業生を送り出してきたという事実裏付けられています。内外の苦境にもその都度、立ち向かって歩んできたこの長い道程は本校が誇る大きな財産です。

学校は、自分を見つめ自分らしい生き方を模索し、社会に踏み出していくための準備の場としての役割を担っています。改めて社会に目を向けると、そこは多様性に満ちた世界です。その中であって自分らしく生きていくためには、「人はみな違う」という多様性を受け入れ、様々な人たちが共に力を合わせ平和に生きていくための知恵と技を学び、創り出していくことが大切です。そのために香蘭女学校では、以下のような目標を掲げ教育を実践しています。

1. 一人ひとりの生徒の個性や才能を「引き出し」伸ばしていく

個性や才能は神様からいただいた「賜物」です。「なすべきつとめ つくしつづ」薫りをはなとりどりに」と校歌の一節に歌われているように、生徒が自ら進んで自分の「賜物」を磨き、それぞれの個性や才能を十分に発揮できるよう努めます。

2. 隣人を愛し「共に生きる喜び」と「奉仕の喜び」を知る

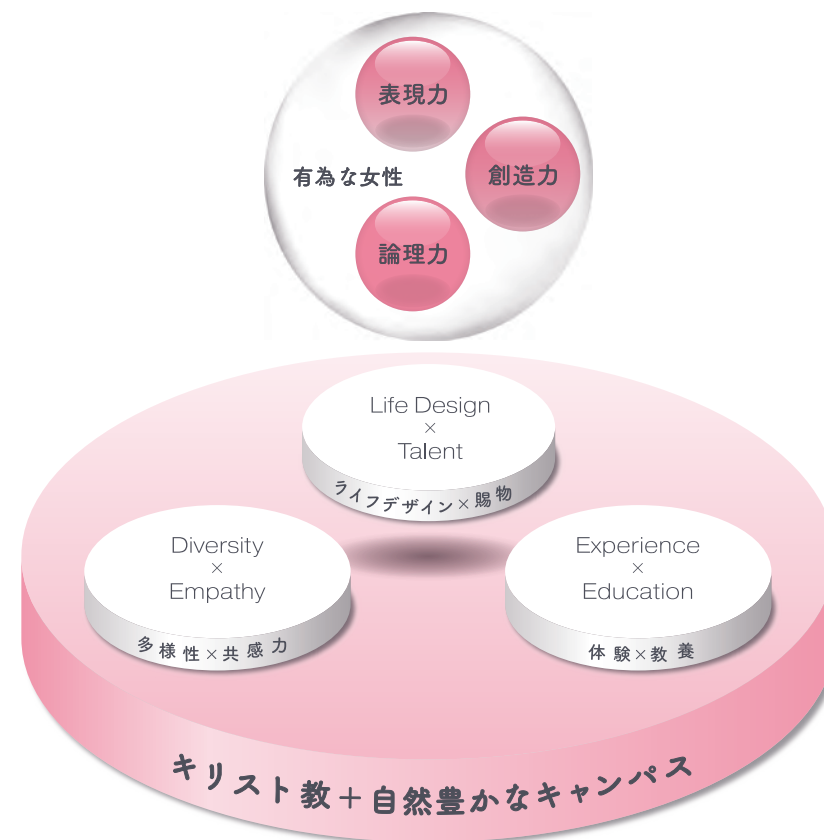
それぞれが相手との違いを理解し、互いが対等に「自由な存在である」ことを受け入れ、互いに尊重する心を育てる。そして、自らの賜物を「他の人のために」活かしていく喜びを知り、学校生活を通して「共に生きる」知恵を育みます。

3. 女子校としての使命を追求する

香蘭女学校には、男女別学の利点を活かした教育を追求する使命があります。そして、未来社会に生きる女性に必要な教養と品格を身に付け、多様なグローバル社会の中で平和に貢献する女性を育みます。

今世紀に入り地球レベルでの科学技術の進化や社会の変革はますます急加速し留まるところを知りません。それは人間の拠って立つ真理が絶えず揺れ更新されることに他なりません。日本の教育の現場にも大きな波が押し寄せています。そのなかで、一人ひとりの違いが大切にされ、豊かに活かし合い繋がりを尊ぶ「聖書」の教えは、一層貴重な「道しるべ」となるでしょう。今後、国内の学校形態がどのように変化しようと、私たち香蘭女学校は、「聖書」を礎とした全人教育を高く掲げ、次の時代を支えリードする女性の育成に邁進していきます。時代を読みながら「女学校」として進化し続ける努力を私たちは止めません。

有為な女性を育む香蘭女学校の教育



1887（明治20）年10月に今井壽道初代校長によって提出された私立香蘭女学校設置願の設置目的には「優等全備ノ貴女ヲ養成スル」とあります。これは創設者エドワード・ピカステス主教の考える「日本女性固有の婦徳をキリスト教精神によって昇華させる」ことを具現化しようとしたものです。世の潮流の潮目にある今の時代にあって、この建学の精神の重要性はむしろ増していると考えます。

香蘭女学校は、建学の精神を絶えず時代に活かし、キリスト教の信仰にもとづいた人間教育と高度の教養教育をその基に据え、他者との出会いを大切に隣人として生きる「有為な女性」を育てることを目的としています。

「有為な女性」とは、自分や他の一人ひとりに神様から与えられた「賜物」の存在に気づき、一生をかけて大切に磨き、社会や人のために役立てていくことができる女性です。自らに与えられた「賜物」を活かして自分らしく生きていくためには、しなやかで豊かな感性と表現力・論理力・創造力を育むことが大切であるとわたしたちは考えます。

香蘭女学校では、そのような女性を育てるために3つの柱から構成された教育プログラムを展開しています。

有為な女性を育む香蘭女学校の教育

Experience × Education

体験 × 教養

「求めなさい。そうすれば、与えられる」

マタイによる福音書 第7章7節

Ask, and it will be given to you.

香蘭女学校の考える本物との出会いとは、本物の自然、芸術、文化との出会いだけでなく、神様とのつながり、人とのつながり、そして自分が見守られ支えられていることを知ることを包括します。本物を知り、本物の持つ力に感化されることで、未知の世界への興味や関心と真理を求める心が喚起され、教室での学びは繋がりをもった知恵へと昇華されます。その知恵は多様な価値観を受け入れながら共に生きる力の土台＝「教養」となって、自らの一生を支えてくれるはずです。

Diversity × Empathy

多様性 × 共感力

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい」

マタイによる福音書 第7章12節

Whatever you want men to do to you, do also to them.

自分を大切にすることとは、優劣をはなれて自分を認め受け入れ、かけがえのない存在であることに気付くことです。自分のように他の人も大切にすることとは、誰かのために祈ること、いつも誰かのそばにいと想うことです。自分を大切にすることで、友人、先生、家族、まだ出会ったことのない人々、これから出会う人々のことをも大切に想う気持ちが芽生えます。それは多様な文化背景や価値観の存在するこの世界を生きるわたしたちが、互いの違いを超えて他の人を共感的に理解し、ともに生きていく素地となるはずです。

Life Design × Talent

ライフデザイン × 賜物

「主よ、わたしを平和の器とならせてください」

アッシジの聖フランシスの祈り

Lord, make me an instrument of Your peace.

若い日に「自分という人生」のプロセスをどのように歩んでいきたいかを考えること。それは地図のない旅に出る人のように、北極星を目印とし、希望と羅針盤だけを持って一歩また一歩と足を前に進めることです。自分はどのような人間になりたいのか、また他の人や社会からどのような人間であることを求められているのか。希望と羅針盤とは、神様から与えられた「賜物」を大切に磨き、大きな事も小さい事も「愛」を持って臨むことによって育まれる、変化する時代に対応し学び続ける力としなやかな感性に他なりません。それこそが、わたしたちが与えられた人生の時間を活かし生き抜く力となるはずです。



卒業生の声

- ◆ 聖書の勉強が今、糧になっていると感じています。聖書の教えを知ることで、世界の多くの人の考え方の土台が分かり、他の文化を理解する手掛かりになりました。
- ◆ 学校行事を真剣に取り組む空気が校内にあり、その中で、座学では得られない学びを体験でき、その後の進路を決める際にもいかされました。
- ◆ 季節で表情を変えるキャンパスでの6年間、校庭で日向ぼっこをするようなゆとりのある学校生活が、自分の心を豊かにしてくれたと感じています。

香蘭女学校の6年間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1学期			夏休み		第2学期			冬休み		第3学期		春休み
中等科の学習	学力 テスト	中間 テスト		期末 テスト	学習会		中間 テスト 学力 テスト	学習会	期末 テスト GTEC® 中2・3	英検®	学習会	期末 テスト GTEC® 中1	
	個人面談			保護者面談			高等科進学説明会			授業公開(参観)			Study Hall
中等科1年 (1年)	入学式 新入生 キャン イースター 礼拝 オリエン テーション	運動会 生徒 総会			部活 合宿	創立 記念日	ヒルダ祭 情報 モラル	ヒルダ賞 バザー 宗教 講話	クリスマス 礼拝		校外 見学 合唱会		○ 全学年 ● 学年ごと ○ 希望者
中等科2年 (2年)	イースター 礼拝 オリエン テーション	運動会 生徒 総会		海外 研修	学年 キャン 部活 合宿	創立 記念日	ヒルダ祭 情報 モラル	ヒルダ賞 バザー 宗教 講話	クリスマス 礼拝		校外 見学 合唱会	スキー 教室	
中等科3年 (3年)	イースター 礼拝 オリエン テーション	運動会 生徒 総会		海外 研修	平和 学習 部活 合宿	創立 記念日 修学旅行	ヒルダ祭 情報 モラル	ヒルダ賞 バザー 宗教 講話	クリスマス 礼拝 平和 学習		校外 見学 テーブル マナー	スキー 教室 卒業式	
高等科1年 (4年)	入学式 新入生 キャン イースター 礼拝 オリエン テーション	運動会 生徒 総会		オペラ教室	海外 研修 平和 学習 部活 合宿	創立 記念日	ヒルダ祭 情報 モラル	ヒルダ賞 バザー 宗教 講話	クリスマス 礼拝 平和 学習			スキー 教室	
高等科2年 (5年)	イースター 礼拝 オリエン テーション	運動会 生徒 総会		海外 研修	平和 学習 部活 合宿	創立 記念日 文楽教室	ヒルダ祭 情報 モラル	ヒルダ賞 バザー 宗教 講話	クリスマス 礼拝 平和 学習			修学旅行	
高等科3年 (6年)	イースター 礼拝 オリエン テーション	運動会 生徒 総会	歌舞伎教室		平和 学習 教科 研修	創立 記念日	ヒルダ祭 情報 モラル	ヒルダ賞 バザー 宗教 講話	クリスマス 礼拝 平和 学習			卒業式	
高等科の学習	学力テスト 高1	中間 テスト 模試 高2・高3		期末 テスト	夏期講習 模試 高3		中間 テスト 模試 学力テスト 高1～高3		期末 テスト	冬期講習 模試 高1・高2	ケンブリッジ英検 高1・高2	期末 テスト	大学受験補習
	進路説明会			保護者面談			進路面談			進路説明会			

※GTEC®は株式会社ベネッセコーポレーションの登録商標です。 ※英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。

香蘭女学校の1年間

	4月	5月	6月	7月	8月
Experience×Education 香蘭女学校の考える本物との出会いとは、本物の自然、芸術、文化との出会いだけでなく、神様とのつながり、人とのつながり、そして自分が見守られ支えられていることを知ることを包括します。本物を知り、本物の持つ力に感化されることで、未知の世界への興味や関心と真理を求める心が喚起され、教室での学びは繋がりをもらった知恵へと昇華されます。その知恵は多様な価値観を受け入れながら共に生きる力の土台=「教養」となって、自らの一生を支えてくれるはずです。	学力テスト（1-4年）  新入生キャンプ（1・4年） 学年別研修（2・3・5・6年） 入学感謝礼拝 1学期始業式 イースター礼拝 部活オリエンテーション（1年） オリエンテーション オリエンテーションでは、新学年の目標を確認し、クラスづくりを始めます。	中間テスト 香蘭生の大好きな行事のひとつが、運動会です。いろいろな競技を学年対抗で戦います。 運動会 生徒総会  模試（5・6年） 個人面談 進路説明会・キャリアガイダンス（4-6年）	歌舞伎教室（6年） 理科校外学習（希望者）  宗教講話 宗教講話は、「命・正義・平和・人権」をテーマに、外部から講師をお招きしてお話を伺う機会です。 立教大学学部学科説明会（5年） 教育実習期間 身近な存在である先輩から、進路についてお話を聞く機会でもあります。	オペラ教室（4年） 期末テスト 中等科学習会 中等科学習会では、立大推薦内定者が中等科生に楽しくわかりやすく勉強を教えてください。 カナダ研修（希望者） 1学期終業式 保護者面談 特に5・6年生は受験に向けて必要な教科を選択し、集中して勉強します。立大推薦内定者は英語講座があります。 高等科夏期講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	学年キャンプ（2年） 英国研修（希望者） 部活合宿（部活ごと） 部活合宿は、部ごとに行うため、部の目的に応じて行き先も泊数も異なります。 模試（6年）
学校生活を支える行事	防災訓練 健康診断				

Diversity×Empathy

自分を大切にすることとは、優劣をはなれて自分を認め受け入れ、かけがえない存在であることに気付くことです。自分のように他の人も大切にすることとは、誰かのために祈るということ、いつも誰かのそばにいたいと思うことです。自分を大切にすることで、友人、先生、家族、まだ出会ったことのない人々、これから出会う人々のことをも大切に想う気持ちが芽生えます。それは多様な文化背景や価値観の存在するこの世界を生きるわたしたちが、互いの違いを超えて他の人を共感的に理解し、ともに生きていく素地となるはずです。

Life Design×Talent

若い日に「自分という人生」のプロセスをどのように歩んでいきたいかを考えること。それは地図のない旅に出る人のように、北極星を目印とし、希望と羅針盤だけを持って一歩また一歩と足を前に進めることです。自分はどういう人間になりたいのか、また他の人や社会からどのような人間であることを求められているのか。希望と羅針盤とは、神様から与えられた「賜物」を大切に磨き、大きな事も小さい事も「愛」を持って臨むことによって育まれる、変化する時代に対応し学び続ける力としなやかな感性に他なりません。それこそが、わたしたちが与えられた人生の時間を活かし生き抜く力となるはずです。

香蘭女学校の1年間

9月	10月	11月	12月
文楽教室 (5年)	学力テスト (1-4年) 中間テスト	中等科学習会 社会科校外学習 (希望者) 理科校外学習 (希望者) 理科や社会では、希望者を対象に、春や秋に日帰り研修を行っています。	期末テスト GTEC® (2・3年) キリスト教センターの主催で、平和学習のために希望者は冬には広島・春には長崎を訪れます。
中等科修学旅行 (3年)		ヒルダ賞授賞式 ヒルダ賞とは、作文・英作文・絵画・書道の各部門で、生徒の創作した優秀な作品を表彰する校内学芸コンクールです。	広島平和学習 (希望者)
2学期始業式 創立記念感謝礼拝・音楽会 創立記念日は礼拝を捧げ、東京交響楽団のオーケストラの演奏を聴く音楽会があります。	ヒルダ祭	バザー クリスマスツリー点灯式 宗教講話	クリスマス礼拝 2学期終業式
	模試 (5・6年)	進路説明会 (3年) 進路説明会では、大学進学指導室を中心に学年ごとに必要な情報をお知らせします。また主に卒業生の学生や社会人をお呼びして、お話を伺うキャリアガイダンスも行っています。	
		進路説明会・キャリアガイダンス (4-6年)	高等科冬期講習
			進路面談 (5・6年)
防災訓練	情報モラル講演会		

宿泊行事 (対象者と宿泊数)		
1年生	新入生キャンプ	2泊3日
2年生	学年キャンプ	2泊3日
3年生	中等科修学旅行 中尊寺・十和田湖・三内丸山遺跡などを巡ります。	2泊3日
4年生	新入生キャンプ	2泊3日
5年生	高等科修学旅行 吉野・奈良・京都を巡ります。京都では、グループごとの課題研修で、自分たちの決めたコースを巡る日もあります。	4泊5日
希望者2-4年生	英国研修	約2週間
希望者4-5年生	カナダ研修短期	約2週間
希望者4年生	カナダ研修中期	5ヶ月間
希望者4年生	カナダ研修長期	1年間
希望者3-6年生	広島平和学習 長崎平和学習	2泊3日 2泊3日
希望者2-4年生	スキー教室	3泊4日

※海外研修の詳細はP20-21をご覧ください。

春・夏・冬期講習プログラム例	
8:20~9:35	英語基礎・標準・発展、英作文特講
9:50~11:05	数学Ⅲ演習、古典演習、小論文対策
11:20~12:35	無機化学・有機化学、世界史演習 日本史演習、日本史近現代史特講
13:20~14:35	生物記述演習、電磁気演習 現代文演習

香蘭女学校の1年間

1月	2月	3月
英検®（中等科希望者） 中等科学習会 英語の力をはかるため、英検®やGTEC®、ケンブリッジ英検の校内実施をしています。 立大推薦内定者にはTOEIC®も実施しています。	ケンブリッジ英検（4年・5年） 学力テスト（4年） 中等科学習会 校外見学（中等科） テーブルマナー（3年） 礼法で習ったテーブルマナーを 実践する良い機会です。 授業公開（参観）（中等科） 合唱会（1・2年） クラス・学年・2学年全体で歌う合唱会は、3学期になると生徒が毎朝練習に励み、本番に挑んでいます。	GTEC®（1年） 期末テスト  高等科修学旅行（5年） スキー教室（希望者） 長崎平和学習（希望者） 卒業感謝礼拝 3学期終業式
3学期始業式 中高生徒会役員選挙 生徒会は、部活動や文化祭を主催し、生徒の学校生活を支えます。役員は役職毎に選挙します。		
模試（4・5年）	ケンブリッジ英検（4・5年） 	
大学志望校別補習/高3特別プログラム（6年） 進路面談（5年） 進路説明会・キャリアガイダンス（3-5年）		高等科春期講習
	防犯訓練	

※TOEIC®は米国Educational Testing Service (ETS) の登録商標です。

香蘭女学校の1日

登校 7:30 -	
部活動の朝練や朝学習を行います。	
点呼 8:10	
礼拝 8:15	
全校生徒、教職員で毎朝祈りの時を持ちます。	
月～金	
1時限	8:40 - 9:30
2時限	9:40 - 10:30
3時限	10:40 - 11:30
4時限	11:40 - 12:30
昼休み 12:30～13:20（予鈴13:15）	
食前のお祈りのあと、持ってきたお弁当や、売店で購入した軽食を教室でいただきます。 売店ではサンドイッチやおにぎり、簡単なお弁当など予約できます。 昼食後に、部活動や委員会活動を行うことがあります。	
5時限	13:20 - 14:10
6時限	14:20 - 15:10
終礼	
土曜や定期試験日は、午前中に授業や試験が行われます。	
土	定期試験日の時刻
1時限	8:40 - 9:30
2時限	9:40 - 10:30
3時限	10:40 - 11:30
4時限	11:40 - 12:30
終礼	
終礼のあと、教室や特別教室のそうじをします。 そのあとは、部活動や学習会、補習・特別講習などを行います。	
下校 17:30、土曜日・試験中 16:00	

Study Hallでは、19:00まで学習することができます。
（土曜日は17:00まで）

カリキュラム

香蘭女学校中専科 教育課程表

	1年	2年	3年
国語	5	5	4
社会	3	3	4
数学	5	5	5
理科	4	4	4
音楽	2	1	1
美術	1	1	2
保健体育	3	3	3
技術・家庭	2	2	1
英語	5	5	5
聖書	1	1	1
総合的な学習	2 (総合英語・礼法)	3 (総合英語・SEED)	3 (総合英語・SEED)
ホームルーム	1	1	1
合計	34	34	34

有為な女性を育む本校のSEEDプログラム

SEED = Self-Enrichment EDucation

2004年から実施のSE (Self-Enrichment) 授業の主旨を引き継ぎつつ、内容を更に深化させたプログラムです。SEEDには「種」という意味があります。香蘭女学校ならではの有形・無形の産物を活かした様々な取り組み（種まき）を通して学んだことが実を結び、一人ひとりが賜物を発見し、卒業後に「香蘭での6年間で自分の礎を形成した」と実感できるように、という願いも込められています。

中等科の目標

- ①～④をプレゼンテーションやレポート作成に取り入れ、高等科での探究学習に繋げる
- ①問いを持つこと
 - ②立てた問いに論理的に答えること
 - ③自分の考えを適切に言語化すること
 - ④教科間連携を通して、興味関心を深めること

高等科の目標

- 中等科で学んだ探究活動の基本をもとに、社会で自らの賜物を活かすことができる力を養う
- ①「問いを持ち調べて発表する」までの論理性や表現力の養成
 - ②理系文系の課題研究に必要な力の養成

プログラム概要

中等科 (週2時間)	高等科 (週1時間)
● SDGs について ● 職業調べ ● 英数理社 分野ごとの活動 ● 自己を取り巻く社会に目を向けた学習活動	● 専攻分野を絞り込むための様々なアプローチの実践 ● 論文作成とポスター発表

香蘭女学校高等科 教育課程表

教科	科 目	標準 単位	1年	2年	3年			教科	科 目	標準 単位	1年	2年	3年							
			共通	文系	理系	文系	理系Ⅰ				理系Ⅱ	共通	文系	理系	文系	理系Ⅰ	理系Ⅱ			
国語	現代の国語	2	2						保健 体育	体育	7～8	2	3	3	2	2	2			
	言語文化	2	3							保健	2	1	1	1						
	論理国語	4		2	2	2	2	2	芸術	音楽Ⅰ	2	1	1	1	1	1	1			
	文学国語	4				4				音楽Ⅱ	2									
	国語表現	4								美術Ⅰ	2		☆2							
	古典探究	4								美術Ⅱ	2				▲2					
	古典探究演習			△2		2				書道Ⅰ	2									
	小論文演習					▲2		▲2		英語コミュニケーションⅠ	3	4								
地理歴史	歴史総合	2	2						外国語	英語コミュニケーションⅡ	4		4							
	地理総合	2	2							英語コミュニケーションⅢ	4				4	4	4			
	日本史探究	3		3	○3					論理・表現Ⅰ	2	3								
	世界史探究	3				○3				論理・表現Ⅱ	2		3	3						
	地理探究	3				○4				論理・表現Ⅲ	2				3	3	3			
	日本史探究演習					4	○4			Extensive English			☆2	☆2						
	公民	世界史探究演習						○4		家庭	Global Studies				▲2		▲2			
		日本史演習					2	◆2			家庭基礎	2	2							
		世界史演習									家庭総合	4								
		地理演習			☆2					情報	情報Ⅰ	2		2	2					
公共		2		2	2				情報Ⅱ		2				2	2	2			
数学		倫理	2							理数	理数探究基礎	1								
	政治・経済	2							宗教		旧約聖書		1							
	倫理演習					1	1	1		新約聖書			1	1						
	数学Ⅰ	3	3							キリスト教					1	1	1			
	数学Ⅱ(文)	4		3						総合	総合的な探究の時間	3～6	1	1	1	1	1	1		
	数学Ⅱ(理)	4			4						HR	特別活動(ホームルーム)	3	1	1	1	1	1	1	
	数学Ⅲ	3						4		理科	必修単位数									
	数学A	2	2																	
	数学B	2			3															
	数学C	2					2	2												
	統計演習			1																
	数学演習(文)			△2		◆2														
	数学演習(理)						2	2												
	数学Ⅱ演習							2												
	科学と人間生活	2																		
物理基礎	2	2																		
化学基礎	2		2	2																
生物基礎	2	2																		
地学基礎	2																			
物理	4						○4	○4	選択必修単位数											
化学	4					○4	4~8	○4		4~8	○4				4	4~8	4~8			
生物	4					○4		○4	○4											
理科	物理演習				☆2				自由選択単位数											
	化学演習			☆2	2~4	☆2				0	0	0	4	0	2					
	生物演習			2	☆2	☆2														

※高3理系理科は1科目または2科目履修 ○●△☆がついた科目は選択必修科目 ◆▲は選択科目

教科教育

英 語

違いを超えて、世界で通じる英語力を育てます。

相手のことを正確に理解し、自分のことが相手にきちんと伝わる表現力を身につけるため、「聞く」「話す」「読む」「書く」それぞれの力を総合的に育みます。

中等科では英語の授業を週6時間行っています。ホームルーム単位のフルサイズの授業を週3時間、クラスを半分に分けたハーフサイズの少人数授業（20名程度）を週2時間展開しています。

フルサイズの授業では、NEW CROWN(教科書)を使用し、音読トレーニングを徹底するとともに、問題演習を十分に行い、英語の基礎力を確実に身につけていきます。ハーフサイズのクラスでは、スピーキングやプレゼンテーション、ライティングなど様々な活動を行い、英語の4技能をバランスよく育成します。外国人教師のみの時間や、JET-ALT (The Japan Exchange and Teaching Programme Assistant Language Teacher) とのチームティーチングの他、Online Speaking などの多彩な授業形態の中で英語を話し、聞く機会を増やしています。

1. 多読授業プログラム

オンライン多読の他図書室に豊富にある洋書を読む多読多読に取り組んでいます。Oxford Reading Tree (イギリスの小学校で使われている教科書) を中心に易しい本からスタートし、英語の世界を楽しみます。多くの英語に触れることで、英語を英語のまま理解する力、読むスピード、自然な英語表現や幅広い語彙力を身につけることができます。中学3年間で300冊以上、数10万語を読む生徒もあり、英語の楽しさを体感できます。

2. Online Speaking

iPadを使用しながら外国人講師とマンツーマンの英会話を授業の中で、また自宅でも行っています。生徒は積極的に英語で話し、ツールとしての英語の重要性に気付くとともに、英語でのコミュニケーションに自信をつけることができます。

3. 放課後のEnglish Seminar

2・3学期の放課後には立大推薦に内定した高等科3年生が中学生の英語学習をサポートする学習会を行っています。また希望者を対象に、ALTと一緒に英会話ができるEnglish Timeや英語検定試験の面接対策練習を行い、積極的に英語でコミュニケーションをとる姿勢を養っています。

4. 検定試験

中等科2年生～高等科2年生は英語外部検定試験 (GTEC®、ケンブリッジ英語検定など) を校内で全員受験し、英語力の伸長を実感していくことができます。

また希望者を対象に英語検定試験の校内受験を実施しています。

5. English Day

TGG (Tokyo Global Gateway) にて、英語でのコミュニケーションを経験します。機内やレストランでの英会話やプレゼン、TV番組制作等のプログラムを体験できます。

聖 書

聖書のメッセージから、
自分は何を大切に生きていくのか、考えます。

香蘭女学校では中等科1年生から高等科3年生までの6年間、週1時間の聖書の授業があります。ほとんどの生徒は入学して初めて聖書やキリスト教に触れます。聖書のメッセージが、いまを生きている私たちにとってかけ離れたものではなく、私たちが生きる場に結びついているものであることを学んでいきます。自分だけで読み進めることが難しい聖書の箇所も、ひとつひとつの言葉の意味を解釈し、身近な出来事から世界で起こっている事まで、私たちが直面していることと繋げて考えることで、自分なりに読み、理解を深めていくことができます。聖書のメッセージ、イエス・キリストの生涯や言葉と行いによる教えを知ることで、現代の社会において自分はいかに生きるか、私たちを取り巻く様々な問題に対してどのように向き合い、何を大切に生きていくのか、考えていきます。

国 語

自己を見つめ、他者への共感を育み、表現力を磨きます。

香蘭女学校では国語という教科は、かつて「文学」という教科名で呼ばれていました。その当時から、自己を見つめ、他者へ共感する心を育んできました。善き人間として生きることは、良き日本語生活をするにも繋がります。中等科では教科書は週1～2時間にとどめ、ことばや漢字、表現、古典暗唱など独自教材の授業を進めます。また、全員が国語・漢語・古語辞典を持ち、言語への関心を深め、自己の考えや感覚を自分のことばで表現することをめざします。中等科3年生からは本格的に古典文法に取り組み、高等科の学習に向けて評論文の読解にも挑戦します。高等科では3年生まで全員が必修で論理国語(現代文)を学びます。そして文系選択者は文学国語(現代文)・古典探究(古文・漢文)でより深く文学を学びます。また受験で小論文が必要な生徒は小論文演習を選択できます。

本校の国語教育は読解、表現、言語知識など、すべての領域において、他者とともにあることを実感し、実践できる取り組みを進めています。これは建学の精神にも繋がるものです。この精神を尊重する取り組みの一つに校内学芸コンクールであるヒルダ賞作文が位置づけられます。夏休みの期間を活用し、推敲を重ねた文章からは毎年すばらしい作品が生まれます。

数 学

粘り強い思考力と論理的な思考力を培います。

生徒たちの発達段階に即した形で、ものごとを俯瞰したり抽象化して捉える視点を伸長するとともに、抽象度の高い事象にも躊躇なく取り組み、粘り強く思考する姿勢を身に付けさせることをめざします。また、そのような視点が、見落としがちな規則性を見出すことに適していることを体感し、逆にそういった規則性を問題解決に応用する力を培うことも重要な目標とします。

これらの目標の達成のためには、論理的思考の過程の有効性を確認した上で、実際に繰り返し運用することが適切な学習過程となります。こうした過程は、理系の生徒のみならず文系の生徒も含めた遍く人々にとって、社会において活躍するための判断力や人への説明能力の基盤を担保するものになると考えます。こうした点から、本校数学科の教員一同は、すべての生徒に対して、その実力や目的に最適化されたきめ細やかな指導を提供することを心がけています

理 科

実験実習を多く取り入れ、検証し考える力を育みます。

中等科では、実験や観察実習の時間を多く設け、成功や失敗の経験をたくさん味わえるよう心がけています。「実験・観察」→「まとめ・検証」を繰り返しながら、論理的思考力を養います。また、学んだ事柄が確実なものになるように、実験の振り返りも大切にしています。観察してわかったことや考えをまとめることで、断片的な知識がつながり、深く物事を考える手法が身につきます。磯の生物・地層の観察会、科学館や博物館への理科見学、秋の高尾山ハイキングなど、校外に出かける機会を数多く設けています。高等科の授業は物理・化学・生物の分野別になり、さまざまな進路に対応できる力を養います。中高共に興味を抱きやすいよう心がけています。

社 会

資料を読み解き、世界を視野に入れて考える姿勢を養います。

自分が暮らす世界はどのような場所なのか、その中で自分は社会とどのような関わりをもっていけるのか、自分の身のまわりだけではなく、さまざまな国の歴史、自然環境を多角的にとらえることが自己の世界を知り、異文化理解に繋がります。社会科では、これからの国際社会の中で必要とされる基本的な力と教養を身につけることをめざしています。

授業では、講義形式だけではなく、アクティブラーニングを通して、持っている知識の整理、資料を読み解き分析する力、情報を整理して発信する力を養います。また、フィールドワークによって、粘り強く調査し検証を行う力も身につけます。主体的な取り組みから生徒自身の興味関心を広げ、自分と社会との関わりに具体的なイメージをもって進路を考えることができる土台作りをサポートしていきます。

音 楽

音楽を愛する心と音楽文化を大切に作る姿勢を育みます。

香蘭女学校では、中等科1年生から高等科3年生まで音楽を学びます。お互いの声に耳を澄ませ、ハーモニーを奏でる中で、感性を高め合いながら一つの音楽を作り上げます。日々の授業で学んでいる聖歌や宗教曲は、毎朝の礼拝や様々な式典の中で歌われます。中等科ではメンデルスゾーン作曲「讃歌」より“主を頼みて”を二部合唱します。クリスマス礼拝では学年毎にクリスマスキャロルを練習し、奉唱します。美しい歌声が、ホールいっぱいに響き渡る、香蘭生が楽しみにしている行事の一つです。高等科卒業感謝礼拝では高等科生全員でヘンデル作曲「メサイア」より“ハレルヤ”を奉唱します。

歌唱の他にもリコーダーやソルフェージュ、音楽理論などを幅広く学びます。

身近にある音楽の美しさを味わい表現する経験を通して、心豊かな時間を共有することを大切にしています。

美 術

表現する喜びを通して個性を発見します。

中等科1年生から3年生まで必修です。高等科2年生、3年生では選択授業が置かれています。情動的興味や関心による楽しさを創作意欲に繋げ、目的・目標を持ってイメージされたものを表現する喜びを味わい、創作技術を高めていくことをねらいとしています。そして、試行錯誤を繰り返すイメージを表現していくことで、個性の発見へと繋げていくことをめざしています。さらに、身近な自然や造形物、デザインされた様々な日用品などに目を向け、客観的にとらえなおす目を持って、美術各分野のさまざまな表現方法を体験します。

中等科ではカッターを使った鉛筆の削り方から練習し、高等科選択では油絵に触れ、演習ではより高度なデッサンと卒業制作に挑みます。

家 庭 科

一人の生活者として自立できる女性を目指します。

日々の暮らしがそのまま題材となる家庭科は、わたしたちが生涯にわたって心も体も健康であるために、どうすればよいかを考え、学習していきます。

自分の暮らしを見つめ直し、社会の変化に向き合いながら、日々の生活を豊かに送れるよう、必要な知識や技術を身につけ、生活課題を解決する力を育みます。

香蘭女学校の家庭科では、調理実習や被服実習における伝統的な手仕事のほかにも、様々な行事と連動して主体的・実践的な態度を育て、自分の手で生活を彩る楽しさを味わいながら暮らしを創造する女性を育てます。

保健体育

豊かな生活を自ら創る力を養います。

豊かな人生を過ごすためには、健康が欠かせません。健康で安全な生活を送るために、自ら考え、選択し、行動する力が重要です。そのために必要な知識と実践力・体力を保健体育の授業で養います。さらに社会に目を向け、女性の生き方の課題について考えます。保健の授業では、ニュースなどで話題になっている事柄をとりあげ、自分と重ね合わせながら理解を深めます。

体育の授業では、中等科3年生から創作ダンスを始めます。基本的なステップから始まり、集団で表現することを目指していきます。高等科2年生では、1年間話し合いを重ね各クラスで作品を創り上げます。そして、高等科3年生が運動会で学年ダンスとして発表することは、創造力や表現力を発揮する良い機会となっています。

礼 法

キリスト教の精神を教育の基盤に置きながら、本校では創立当初から日本人としての心を育む時間を大切にしています。それは、英国人宣教師の先生方が、英国の伝統と似ていると感じた日本文化を尊重する姿勢をとられたことに由来します。他者のために自分は何ができるのか、また思いやりのある謙虚な姿勢とはどのようなものか。日々の生活の中では勿論のこと、特に中等科1年生では小笠原流の礼法の授業で、長い間日本人が重きを置いてきた心の表現、基本的な立ち居振る舞いなどを習得します。一つ一つの所作を身につけることはもちろん、背景にある歴史的な意義も理解し、心身共に美しい礼儀作法ができる女性に育ってくれることを祈っています。

海外研修、国際交流・語学研修

香蘭女学校では希望者を対象に英国、カナダでの語学研修プログラムを実施しています。多くの生徒が参加し、英語の力を伸ばすとともに、国際理解を深め視野を広げています。

◆ 英国語学研修 (対象：中等科2年～高等科1年)

英国ハートフォードシャー州の私立ボーディングスクールであるビショップス・ストートフォード・カレッジにて、香蘭生対象の特別語学プログラムを受けます。滞在中は寮生活をしながら少人数クラスでSpeaking活動を中心とした英語の授業をActive Learning方式で行い、英語での発言力を強化します。授業外でも現地の散策や遠足などの課外活動、現地のイギリス人生徒や他国からの留学生との交流など、様々な活動を通してお互いの文化、歴史を学び、多様性を知る体験ができます。

◆ カナダ短期語学研修 (対象：高等科1～2年)

『赤毛のアン』で有名なプリンスエドワード島でホームステイし、プリンスエドワード島大学に約2週間通い、香蘭生対象の特別語学プログラムを受けます。午前中には英語の授業、午後にはアクティビティが行われます。プログラムを通して文化の多様性や自身の将来・ライフデザインについて焦点を当て「自分で考えて発表する」ことを目標にしています。これにより、カナダならではの国際的な視点に触れることができ、深い思考を養うきっかけにも繋がります。

◆ カナダ中期・長期留学 (対象：高等科1年)

中期では高等科1年の7月下旬～12月、長期では7月下旬～高等科2年の6月までプリンスエドワード島でホームステイをしながら現地のGrace Christian School (GCS)に通います。GCSは島内でも最上位のキリスト教系私立学校です。高校生の理系の授業は現地大学と共同研究を行っています。教員は留学生への指導の経験が豊富で、きめ細やかなサポートによる英語力の向上には目を見張るものがあります。帰国後は学年が下がることなく、3年間で高等科を卒業することができます。

◆ 立教英国学院編入

立教英国学院はロンドンから南へ約1時間、美しい田園地帯に広大なキャンパスを持つ、立教大学の系属校です。小(5・6)、中高200名弱の「大きな家族のような」全寮制の共学校で、日本人による日本そのままの授業に英国ならではのイギリス人による授業が加わります。転校の形をとり香蘭女学校への納付金はなく、進級して復学します。

◆ カナダ大学進学

プリンスエドワード島大学 (UPEI) は4,600人の学生が通う中規模の大学です。マクリーン・カナダ大学ランキング (Maclean's Magazine) では常に上位にランクインされており、特に理系を学ぶ学生にとっては最高の環境と言えます。香蘭女学校とUPEIとの提携により、一定の成績を修めた生徒には教養学部、ビジネス学部、理学部、看護学部への指定校推薦での進学が認められています。初年度の4月から入学までの約5か月は大学の英語プログラム (EAP) を受講することになっています。

海外研修・留学プログラム一覧

海外研修・留学名	対象学年 (渡航時)	留学先	形態	期間	費用	人数
英国 語学研修	2年 3年 4年	英国	寮	約2週間 8月上旬	約75万円	40名
カナダ 短期語学研修	4年 5年	カナダ・ シャーロット タウン	ホームステイ	18日間 7月下旬～8月下旬	約70万円	20名
カナダ 中期留学	4年	カナダ・ シャーロット タウン	ホームステイ 又は寮	約5か月間 7月下旬～12月下旬	約250万円 (注1)	3名まで
カナダ 長期留学	4年	カナダ・ シャーロット タウン	ホームステイ	約1年間 7月下旬～6月下旬	約400万円 (注1)	2名まで
カナダ 大学進学	卒業後	カナダ・ シャーロット タウン	ホームステイ 又は寮	約4年間+英語研修	1年間 約280万円	—
立教英国学院 編入	3年 4年	南英・ ラジウィック	寮	約1年間または2年間 4月～3月	1年間 約400万円	—

注：中期留学・長期留学については、東京都私学財団海外留学推進助成金制度が受けられる場合もあります。
※ここで紹介するプログラム以外にも、外部プログラムを紹介しており、そこに参加する生徒もいます。

2024年度の国際交流・語学研修

- オンラインによる海外交流・英語でのキャリア教育プログラム
- 校内 英語研修・異文化交流プログラム
- 海外で活躍する卒業生・外国語を用いて仕事をする卒業生による講演会

ICT教育

香蘭女学校では授業や自宅学習、部活動や委員会活動においてiPadなどの端末を用いて自分にとって必要な情報を選び取り、活用できる力を養うことを目的としてICT教育に力を入れています。

◆ iPadの導入

本校では中等科1年の1学期中間試験が終わった後、iPadを1人1台購入します。(2月申し込み、6月配布) iPadは個人所有であるBYOD (Bring Your Own Device) 方式を採り、MDM (Mobile Device Management) でインストールするアプリ等の管理を学校で行っています。

一人ひとりが自分のiPadの管理や利用に関する自己管理をきちんと行うことができるようになるよう、学校での指導だけでなくご家庭との連携を重視しています。

● iPadの活用例 (抜粋)

・授業における学習支援ツールとして活用

実験やグループワーク、調べ学習など様々な授業で活用されます。主にロイロノートを用いて双方向授業を行っています。

・自宅学習

授業中に配信されたデータを確認することはもちろん、オンラインの英語多読サービス「Oxford Reading Club」を活用して自分で英語学習を進めることができます。

・データの共有

Google workspace for educationを使用し、生徒一人ひとりがアカウントを所有しています。Googleドライブを活用し、行事で撮影された写真や部活動の試合・演奏の動画、委員会やクラスで必要なデータなどを共有しています。複数人でドキュメントなどの共同編集もできるため、授業だけでなく学校生活の様々な場面で活用されています。

・連絡の確認

学校や教員は、CYBER CAMPUSというサービスを使って生徒や保護者への連絡をおこなっています。

・論文指導

高等科のSEEDの授業では、目的に応じてアプリケーションを使い分けています。高等科1年次には、論文テーマの決定に向けて新書や先行研究の論文の読み込みをする際に、Googleスプレッドシートを用いて参考文献リストを作成したり、Googleドキュメントを用いて調べた内容を文章でまとめます。高等科2年次には、論文の執筆に際してGoogleドキュメントやPagesを使用します。また、GoogleスライドやKeynoteを用いてプレゼンテーション資料の作成も行います。

・オンライン会議

生徒達の自治活動においてオンラインで会議を行うこともあります。自宅から会議に参加できるようになり、日程調整が行いやすくなりました。担任と保護者の方との個人面談、進路面談でも活用されることもあります。

◆ ICT委員会の設置

高等科の生徒からICT委員を募り、学校生活におけるiPadの利用に関するルールを策定し、生徒が主体的に運営しています。週に1回定例会を開いてICT通信の発行や新しいアプリの導入検討、情報モラル講演会の準備等の活動を行っています。

ICT通信では、iPadの活用例や注意事項など、委員たちが必要だと感じたことを自分たちでまとめ、データで生徒たちのiPadに配信しています。

◆ 情報モラル講演会

スマートフォンやiPad、SNSなどの活用が当たり前になってきている昨今、その危険性も認識しておく必要があります。そのため年間に1〜2回、ICT委員会や外部講師による情報モラル向上を目指した講演会を行っています。

この他にも、学年のHRでの指導や長期休暇前等にも指導を行い、安全な利用に向け様々な取り組みをしています。保護者対象のモラル研修会も実施しています。

～生徒の声～

私は研究・探究活動でロイロノートを使っています。活動毎にノートのページを作り、ロイロノート上で実験計画を立て、実験で撮影した顕微鏡の写真などを日付ごとに繋げて整理することで、結果を並べて一度に変化を見ることができます。他にも、学校の授業やグループで探究活動を行うときは、ロイロノートの共有ノートという機能を使ってリアルタイムで同じシートに書き込みをし、課題解決へのアクションアイデアを出し合いました。

また、研究大会のプレゼンテーション資料は「Keynote」で作成し、台本や発表メロはGoogleドキュメントやPagesで作成しています。iPad1台でノート作成からプレゼンテーションまで様々な場面で活用でき、普段の授業だけでなく校外活動でも常に持ち歩いていて私の活動の支えとなっています。(132回生Kさん)

生徒会は、あらゆる活動でiPadを活用しています。作業を分担して進める際には、ロイロノートの共有ノート機能を活用することで、作業状況がメンバー間でリアルタイムで把握でき、先生や生徒同士で連絡を取ることもできます。また、Googleのアプリのうち、ドキュメントで企画書の作成、スプレッドシートで会議の出欠の確認、フォームで全校生徒に配信するアンケートの作成を行っています。他にも、全校生徒の前で発表する際に使うスライドはKeynoteを用いたり、ibisPaint Xでデジタルイラストを描いてポスターを作成しています。

今後もICTを駆使して効率的に取り組み、生徒が快適な学校生活を送れるような活動を続けていきます。(2023年度高等科生徒会執行部会長)

学習サポート体制

中等科

中等科では基礎学力の養成、学習習慣の確立を大切に、着実に学習を積み重ねていけるよう、様々なサポート体制を整えています。課題や補習・講習にも英語や数学をはじめ各教科ならではの工夫を凝らし、生徒一人ひとりが自分に合った学習法を見出すためのきっかけや出会いの場を用意しています。

◆ 学習会

立教大学に推薦が内定した高等科3年生が、中等科1年生～3年生までの学習を少人数で丁寧にサポートする体制です。特に英語・数学・国語に分かれ各々の苦手な部分を克服するため、上級生が教え方を下級生にあわせて考え、心をこめて指導しています。また、上級生から日頃の学習の仕方やアドバイスをもらうことで、下級生は刺激を受けるよい機会となっています。夏休みの始まりと2学期・3学期の放課後に行われています。

◆ 補習・講習

中等科では、必要に応じて補習・講習が設定されています。学習会と併行して取りこぼしのある生徒に、教員が補習指導に当たります。また、発展的な学びを求める生徒には、教員がニーズに合わせて講習を行っています。

◆ Study Hall

Study Hallは聖ヒルダ記念館にあり、全校生徒を対象とした自主学習室です。終礼後や部活動後に多くの生徒が利用しています。夏休みなどの長期休暇の間も利用することができます。一人ひとりの要望に合わせて個別質問ができる（対面形式・オンライン形式）他、英検対策、小論文対策、個別面談なども受けることができます。学習習慣の維持としての活用だけでなく、一人ひとりの進路に合わせて使い方は多様です。利用生徒が入室・退室するときは保護者へメールで通知される他、17:30以降は旗の台駅まで集団下校を行っています。

利用できる時間

- 平 日 15:30～19:00
- 土曜日 13:00～17:00
- 試験期間（平 日）試験終了後～19:00
（土曜日）試験終了後～17:00
- 春・夏・冬休み 10:00～18:00

高等科

高等科では2・3年に大学受験対応のカリキュラムを敷き、進路探求に主体的に取り組める科目選択を用意しています。大学受験講座を少人数で積極的に設け、3年次2学期以降は立教大学推薦内定者を別クラスにして受験勉強ではない授業を組むなど、一人ひとりの多様な進路の希望を実現できるよう、きめ細やかな指導をしています。

◆ 大学受験講座

高等科1年生では、英語・国語・数学の3教科、高等科2・3年生は主に大学入試科目を徹底して学ぶ講座を、放課後に行っています。特に、高等科3年生は選択授業が多いため、午前中に授業が終わる曜日もあり、午後にはたっぷりと時間をかけて講座を受けることができます。そこで改めて出逢う仲間たちと共に切磋琢磨し、大学入試合格に向けての学習に取り組んでいます。

講座：受験生を対象として各教科ごとに設定しています。授業では取り扱わないような、大学入試問題を想定した内容を学習したり、問題演習、論述練習なども行います。

志望校別講座：受験校を絞り始める高等科3年生の2学期後半からは、志望校別に対策を行っています。

個別講座：受験生は、受験期の1月2月3月も学校に登校して勉強しています。必要に応じて個別指導を行い、弱点克服を目指して入試に臨みます。

◆ 春期講習・夏期講習・冬期講習

高等科生を対象に、より集中して学習を進めるため1週間～2週間半の講習が設定されています。長期休暇の時期を有効に使い、それぞれの進路に向け深い学びの時をもつ機会になっています。講習の種類も多岐にわたり、レベルも生徒達の現状に合わせ選択することができます。講習を担当する教員も短期間で成果を出すべく、力を尽くしています。

※P.11にプログラム例があります。

◆ Study Hall

※左記中等科参照

ライフデザイン

香蘭女学校のすべての活動の根底には、お祈りがあります。自らを省みるとともに、他者に心を寄せ、なすべきことを問います。お祈りを通して、生徒たちは成長します。

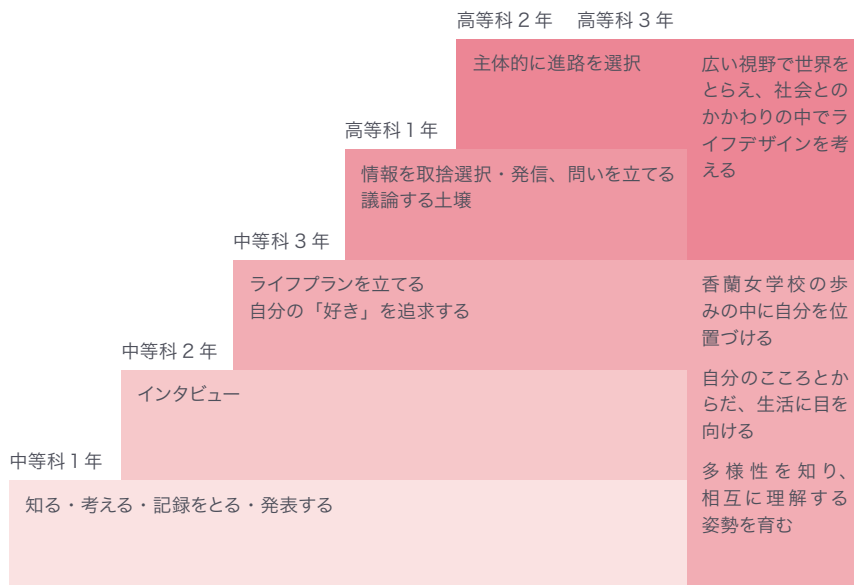
一生の基礎となる香蘭での6年間は、神様から与えられた自分の賜物に気づき、大切に磨く時間でもあります。自分の心や体にも関心を向け、それぞれの賜物をもった友達を自分と同じように尊重します。学校行事や日々の学級活動を通してフォロワーシップを身につけ、その中からリーダーも育っていきます。

21世紀生まれの生徒たちは、平均寿命100歳の時代を生きていきます。これからどのような社会が訪れるのか、私たちには全く想像ができないわけではありません。国内外の様々な分野の研究者が、今後の世界を予想し、発信しています。本校は、自ら真理を追い求め、学び、世界規模の課題に向き合い、他者とともに生きていく生徒の育成を目指しています。そのため、それぞれの学年で「探究」や教科、校外活動とも連動したキャリア教育を行います。中等科では、インタビューや発表・発信の方法も学びます。関心のある事柄は書籍やiPadを活用して調べ、中等科1年生から記録を蓄積していきます。高等科では、中等科での関心を専門的に深め、どのように社会に還元していくのかを考え、大学のオープンキャンパスなども活用して進路を選択していきます。

賜物を活かし、誰かのために行動できる一生を生徒一人ひとりがデザインしていきます。

[進路]

[ライフデザイン]



聖公会関係校推薦

立教大学 推薦枠97名（受入総枠147名）※2024年度より推薦枠が97名から160名に変更されました。

学部	学科・専修	受入枠	2023年度 進学数
文	キリスト教	2	13
	史学	7	
	教育	3	
	文学・英米文	5	
	文学・独文	3	
	文学・仏文	3	
	文学・日文	4	
経済	文学・文芸・思想	3	20
	経済	10	
	会計ファイナンス	6	
	経済政策	6	
理	数学	2	3
	物理	2	
	化学	2	
	生命理	2	
社会	社会	5	15
	現代文化	5	
	メディア社会	5	

学部	学科・専修	受入枠	2023年度 進学数
法	法	11	13
	政治	3	
	国際ビジネス法	4	
経営	経営	7	12
	国際経営	5	
観光	観光	6	5
	交流文化	6	
コミュニティ福祉	福祉	4	1
	コミュニティ政策	7	
スポーツウエルネス	スポーツウエルネス	7	1
現代心理	心理	5	8
	映像身体	6	
異文化コミュニケーション	異文化コミュニケーション	6	6
GLAP (Global Liberal Arts Program)		1	0

※立教大学・聖路加国際大学ともに、推薦枠・受入（総）枠は、2023年度のものです。

聖路加国際大学

学部	受入枠	2023年度 進学数
看護	2	2

◆ 高大連携プログラム

本校と同じ日本聖公会に属するキリスト教学校である立教大学と聖路加国際大学との高大連携プログラムがあります。

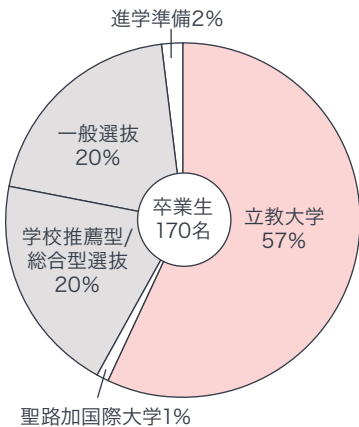
立教大学 高等科2年次に関係校対象の学部別説明会に参加することができ、自分の進路をじっくりと考える機会を持ちます。また、高等科3年の立教大学への進学内定後、実際に立教大学の授業に参加し大学生と協働学習を行うプログラムや、RSL（立教サービスマーケティング）で大学進学の意味を考える機会があります。

聖路加国際大学 保護者や生徒対象に、看護師だけでなく医師や薬剤師の仕事についてのお話や大学での学びを紹介いただくほか、夏休みには生徒が実際に大学で授業・実習を体験します。

授業・実習体験を通して、大学での研究や現場から刺激を受け、進路選びの幅が広がり、興味関心がより深まることが期待されます。

進路結果・主な指定校推薦

2023年度卒業生の進路状況



立教大学進学者の学部内訳

文	13人
異文化コミュニケーション	6人
経済	20人
経営	12人
理	3人
社会	15人
法	13人
観光	5人
コミュニティ福祉	1人
現代心理	8人
スポーツウェルネス	1人

学校推薦型/総合型選抜、一般選抜合格者の進学先の学部系統内訳

人文科学系	37%
社会科学系	23%
医歯薬保健農系	20%
理工系	10%
芸術・スポーツ系	7%
生活科学系	3%

主な指定校推薦（立教大学97名、聖路加国際大学2名の他）

学校名	学部	推薦枠
慶應義塾大学	理工	1
国際基督教大学	教養	2
青山学院大学	理工、経済、経営、国際政治経済ほか	14
中央大学	商、経済、文、理工	4
学習院大学	理、文	4
東京理科大学	理、創造理工	5
東京女子大学	現代教養	5
日本女子大学	家政、文、理	3
明治学院大学	文	1
成城大学	文芸、社会イノベーション	2
日本大学	商	1
東洋大学	国際観光	2
津田塾大学	学芸	1
フェリス学院大学	文、国際交流、音楽	7
白百合女子大学	文、人間総合	6
清泉女子大学	文	5
東京都市大学	環境、メディア情報、デザインデータ科学ほか	5
東京農業大学	農、応用生物科、生命科、国際食料情報ほか	14
芝浦工業大学	工学、システム理工、デザイン工学	3
昭和大学	薬	1
共立女子大学	家政、建築・デザイン、文芸、国際	8
昭和薬科大学	薬	1
東京薬科大学	薬、生命科学	3
立命館大学	理工	1

過去3年間の主な大学合格者数（数字は（ ）内の既卒生も含む）

学校名	2023年度	2022年度	2021年度
国公立大学・大学校合格者数			
大阪大学	1		
千葉大学		1	
電気通信大学	1		
東京大学		1(1)	
東京外国語大学	1	2	
山梨大学	1		
横浜国立大学			1
埼玉県立大学	2		
東京都立大学			1(1)
国立看護大学校	1		
防衛大学校	2		
防衛医科大学校	1		
主な私立大学合格者数			
立教大学	98 (推薦97含む)	101 (推薦97含む)	97 (すべて推薦)
青山学院大学	10	2(1)	4
麻布大学		1	2
学習院大学	5	1	1
北里大学	1	3	
共立女子大学	2	3	3
近畿大学	1		
慶應義塾大学	4	2(1)	7(1)
国際基督教大学	1	2	1
芝浦工業大学	1	2	4(1)
上智大学	11	7	7
昭和大学		5	5
昭和薬科大学		1	1
成蹊大学	3	4	1(1)

学校名	2023年度	2022年度	2021年度
主な私立大学合格者数			
成城大学	4	3	1
清泉女子大学	3	5	1
聖マリアンナ医科大学	1(1)		
聖路加国際大学	2	3	3
多摩美術大学	1	4	5(1)
中央大学	8	4	3(1)
東京女子大学	5	4	2
東京慈恵会医科大学	1		
東京都市大学	2	3	2
東京農業大学	9	1	6
東京薬科大学	2	1(1)	1
東京理科大学	1	6	4
同志社大学	1		
東洋大学	3(1)	5(1)	5(2)
日本大学	5	7(2)	12(1)
日本獣医生命科学大学	4	1	1
日本女子大学	3	2	
日本赤十字看護大学	2	2	
法政大学	9(1)	6(2)	2
星薬科大学	1	2	
武蔵大学	1(1)	2	5(5)
武蔵野美術大学	6	1	2
明治大学	10	3(1)	3
明治学院大学	8	3(1)	2
立命館大学			3(3)
早稲田大学	3	11	4
University of Toronto	1		

高3特別プログラム

立教大学推薦内定者と指定校推薦内定者は、3学期に特別プログラムに参加します。

- ・小論文対策講座（Z会）
3つの小論文課題や表現力・創造力を育成するプログラムを通して大学の学びに向けた準備を行います。
- ・ようこそ先輩
社会人の卒業生との対話を通して、キャリアや社会について自身の考えを深める時間をもちます。
- ・礼法講座
中等科1年で学んだ「立つ、座る、歩く、まわる、物を持つ」といった日常の動きをもう一度見直し美しい所作を身につけます。
- ・TOEIC®講座
レベル別に受講し、大学や社会で通用する実用的な英語を学びます。
- ・立教大学RSLセンター ギャップイヤープログラム（立教大学推薦内定者のみ）
高大連携プログラムとして立教大学に訪問し、大学進学後にリーダーとして活躍する学生となる準備を行います。
生徒たちはこれらのプログラムを通して、大学進学は自己実現の通過点であることを改めて意識し、進学への心構えを新たにします。

卒業生の声 ～132回生～

2024年春、それぞれの希望をもって132回生は香蘭女学校を巣立っていきました。6年間の学校生活の中で、自分の将来について真剣に考え、数々の選択肢から決断してそれぞれの進路に挑戦した生徒たち。

香蘭女学校で気付き、育んだそれぞれの賜物を、これからも大切に育てていって欲しいと願っています。

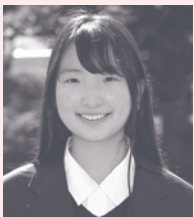


慶應義塾大学 理工学部



自由な校風の香蘭では、勉強と部活動を両立しながら、短期語学留学、ボランティア活動等への挑戦もでき、やりたいことに打ち込み自分らしくのびのびと過ごすことができました。先生と生徒の距離が近く、気軽に質問や相談ができたことが、多くの学びと気付きに繋がったと思います。高等科1年の進路ワークでは自分自身と向き合うきっかけをいただき、大学、そしてその先で何をやりたいのかを考え、データサイエンティストになりたいと思うようになりました。進路が決まった後も、やってみたかった化学の実験を放課後にやらせて下さり、最後まで興味と学びを掘り下げられた学校生活でした。何よりも、学校で一緒に勉強して、毎日大笑いして、思い悩んだ時は互いに支え助ける合える友達に巡り会えた事が私の一生の宝物です。大学でも探究心を持ってやりたいことを突き進めていきたいです。

慶應義塾大学 環境情報学部



香蘭では学校の勉強だけでなく、自分の興味関心を追求する時間ととることが出来ます。私は在学中に環境問題に取り組む研究活動を行いました。毎日学校の実験室を借りて、実験に行き詰まることがあると先生方が相談に乗ってくださり、後押ししてくださいました。また私は幼少期から理科が好きですが、理系科目が得意ではありませんでした。しかし得意なものよりも好きなものを選ぶことが出来たのは、自分の挑戦を応援してくれる友人や先生方に囲まれた香蘭の環境が影響しています。大学進学後も自身の興味関心を大切に、社会貢献に繋がる科学研究を進めたいです。

東京外国語大学 国際社会学部



素直に仲間を応援し、互いに高め合える環境が香蘭の魅力だと思います。自分の興味や関心を追いかけて賜物を磨く友人、日々の授業で興味の種を蒔くことで探究心を育ててくださった先生方の存在が新たな挑戦の原動力となり、生徒会活動や学校外プログラムへ励むことができました。また、ALTの先生との会話や洋書多読、オンラインでのアイルランド研修など、香蘭の学びを通して言語や文化を体験的に学ぶ機会を得たことが国際社会へ関心を持つきっかけとなったと思います。隣人愛の思想に基づき、対話を重んじる香蘭での学びを通して、自分の核となるものを見つけられました。

大阪大学 外国語学部 (外国語学科フィリピン語専攻)



私は中学生のころから、香蘭の英会話や洋書の多読の授業を通して異文化に憧れを抱くようになり、様々な国際プログラムに参加しました。その中で、フィリピンの歴史と国民性の関係について興味を持ち、フィリピン研究が充実する大阪大学に進学したいと考えました。香蘭では、日頃から自分の進路や興味分野と向き合い、考える場があります。これは、私が挑戦した総合型選抜入試において非常に役に立ちました。また、目標を応援してくれる先生や友人に支えられ、辛い受験も前向きに乗り越える事ができました。卒業後は、香蘭で学んだ隣人を慈しむ心を常に持ちながら、日本とフィリピンの国際交流を促進できるような研究をしていきたいです。

早稲田大学 教育学部



香蘭は、同学年との横の繋がりはもちろん、先生方や他学年との縦の繋がりがとても強いことが魅力の一つです。好奇心や意欲の溢れる仲間に出会い、刺激を与え合い、支え合うことで、多くの貴重な経験ができました。また、多様なプログラムや日々の授業などを通して自らを見つめ、自分自身の「賜物」に気づき、磨くことができました。私は、洋書多読や海外交流イベント、オンラインスピーキング、ALTの先生方との交流などを通じて、英語を学ぶ楽しさや世界の広がりを感じました。将来、英語を学ぶ楽しさを伝えたいという思いがふくらみ、香蘭の英語教員になるという夢ができました。愛と優しさに包まれた「香蘭」という恵まれた環境で6年間学ぶことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

立教大学 異文化コミュニケーション学部



香蘭は奉仕の精神を中心に据えた校外活動が充実していて、他者に寄り添い、ともに生きる姿勢が自然と身につくところが魅力です。私は多くの平和学習やボランティアの経験を通して、国際協調や多文化共存について関心を持つようになりました。異文化コミュニケーション学部を含め、他大学の受験も考え、進路に迷っていましたが、先生が親身に相談のってくださり、本当に自分が学びたいことを実現できる大学、学部を決めることができました。立教大学だけではなく、広い幅の選択肢があることが強みだと思います。香蘭でのびのびと学んだこと、経験したことが私の進む道を示してくれました。

部活動

	部活名	活動曜日	兼部
運動部	スケート部	月（木・金）	
	ソフトテニス部	月・木・金	不可
	体操部	火・金	不可
	卓球部	水・（木）・土	不可
	テニス部	火・水・土	不可
	バスケットボール部	火・水・木・金・土	不可
	バレーボール部	月・火・水・金 または土	不可
	陸上競技部	火・木・金	不可
文化部			
	囲碁部	金	
	英語部	水 木	
	演劇部	月 水 金	不可
	華道部	金	
	ガールスカウト部	金	不可
	弦楽部	月・水・金	不可
	茶道部	金	
	自然科学部	月・金	
	社会科部	木	
	写真部	火・金	
	手芸部	月・水	
	書道部	木	
	吹奏楽部	火・水・金・土	不可
	箏曲部	水 または 金	
	人形劇部	月・水	
	ハイキング部	火	
係	美術部	火・木・金	
	フォークソング部	水・金	
	文芸部	金	
	漫画研究部	水・金	
	料理部	金	
	歴史文化部	木	
	園芸係	不定期	
	クワイヤー	月・木	不可



スケート部



テニス部



弦楽部



クワイヤー

安全対策

① 常駐の守衛

校門の守衛室には守衛さんが常駐し、生徒の安全な登下校を見守ります。来校者は必ず来校証を受け取ってから校内に入ります。

② 登下校通知メール

生徒が携帯するIC端末が校門通過時に感知され、登下校情報が保護者が登録したメールアドレスに通知されます。

③ 災害発生時の保護者への連絡

保護者への一斉メール（安心でんしゃと、CYBER CAMPUS）により、生徒の安否情報をお伝えします。

④ CoCoネット登録避難校ネット加入

CoCoネット（インターネット上の伝言板）を利用して安否情報を確認することができます。また登下校中に大地震が発生し帰宅が困難な場合には、男子校を除く東京・神奈川の私立学校（小中高）に避難することができます。所在や安否情報は避難校から香蘭女学校に連絡されます。

⑤ 耐震対策

校舎は震度6強にも耐えうる耐震対策をしています。教室の窓ガラスには飛散防止フィルムが貼られています。

⑥ 災害への備え

校内には非常時に全校生徒が3日間学校で生活ができる食料、飲料水、毛布等を準備しています。

⑦ 防災・防犯訓練

各学期に1回防災訓練または防犯訓練を実施し、生徒の安全の意識が高まるようにしています。

⑧ 防犯カメラの設置

防犯カメラが校門をはじめ各所に設置されています。

⑨ 携帯電話の所持とメディアリテラシー教育

校内での携帯電話の使用は禁止されていますが、登下校中の緊急時に使用することができます。また定期的に情報モラル講演会を開き、SNSに関する知識やモラル意識を育てています。

⑩ AEDの設置

AEDが校内各所に設置されています。教員、部活動の各部部長など、AEDの講習を受け対応できるように訓練しています。

学校からのお知らせ

CYBER CAMPUS

保護者や生徒へのお知らせは、通常時・災害時ともにCYBER CAMPUSを通じて配信しています。PC・タブレット・スマートフォンなどで確認いただけます。災害時は、他に安心でんしゃとも使用します。

学校説明会

申込制

※日時・内容などは変更になることがあります。ホームページでご確認ください。

第1回学校説明会	5月18日(土)	午前・午後	小学5年生以下 小学6年生	保護者対象 保護者・児童対象
第2回学校説明会	9月14日(土)	14:30～		保護者・児童対象
入試説明会	12月14日(土)	10:00～ 13:00～	小学6年生対象 小学6年生対象	保護者・児童対象 保護者・児童対象
校内見学会	2月22日(土)		小学5年生以下	保護者・児童対象

公開行事

申込不要

ヒルダ祭(文化祭)	10月5日(土)	9:00～16:00
	10月6日(日)	9:00～15:00
バザー	11月23日(土・祝)	10:00～15:00

中等科入試結果

			募集定員	応募総数	受験者数	合格者数			合格者 最高点	合格者 最低点	
2024 年度	2月1日	4科	100	398	381	112			2月1日	255	195
	2月2日	2科	60	747	573	106			2月2日	186	136

			募集定員	応募総数	受験者数	合格者数			合格者 最高点	合格者 最低点		
2023 年度	2月1日	2科	100	21	20	1			2月1日	2教科判定	170	121
		4科		391	370	133				4教科判定	241	178
		合計	100	412	390	134			2月2日	2教科判定	167	115
	2月2日	2科	60	769	577	127						

			募集定員	応募総数	受験者数	合格者数			合格者 最高点	合格者 最低点		
2022 年度	2月1日	2科	100	23	23	2			2月1日	2教科判定	173	114
		4科		365	340	115				4教科判定	237	182
		合計	100	388	363	117			2月2日	2教科判定	177	127
	2月2日	2科	60	652	472	121						

初年度に必要な費用

入学金	300,000円	※掲載金額は目安です。改定する場合があります。 ※入学の際に、この他制服、副教材、iPad等の 購入費用が別途必要となります。
学費(2024年度予定)	476,000円	
授業料	200,000円	
施設設備資金	108,000円	
教育推進費	7,200円	
生徒活動費	130,000円	
旅行積立金等預り金	18,000円	
紫苑の会費		
合計	1,239,200円	

募集要項抜粋

		第1回	第2回
募集人員および学年		中等科 第1学年 女子160名	
出願資格		2025年3月に小学校卒業見込みの者 ※日本の小学校の6年生にあたる年齢の児童であれば出願できます。また帰国子女も出願できます。	
入試日		2025年2月1日（土）午前	2025年2月2日（日）午後
各日程募集人員		100名	60名
出願方法		Web出願 ※学校事務所窓口での出願受付はいたしません。	
出 願	志願者情報 入力期間	2024年12月20日（金）8:00 ～出願期間終了まで ※ホームページの出願ページの指示に従い、志願者情報を入力してください。 ※帰国生の方は、志願者情報の中に海外在住経歴を記入する欄があります。 ※出願に際して紙での書類提出は一切不要です。	
	出願期間	2025年1月10日（金） 8:00 ～ 2025年1月27日（月） 20:00	2025年1月10日（金） 8:00 ～ 2025年2月 2日（日） 8:00
	検定料	各日程25,000円（ただし、両日程同時出願の場合は40,000円） ※クレジットカード決済またはコンビニエンスストアでの支払い、ペイジーでの支払い	
試 験	選考方法	筆記試験 下記の4教科 ※小学校の報告書や通知表の提出は不要です。	筆記試験 下記の2教科 ※小学校の報告書や通知表の提出は不要です。
	入試科目 試験時間 配点	4教科 300点満点 （国語 50分/100点・算数 50分/100点 社会 30分/ 50点・理科 30分/ 50点）	2教科 200点満点 （国語 50分/100点・算数 50分/100点）
	集合時間	2025年2月1日（土） 8:15	2025年2月2日（日） 14:45
	試験終了予定時間	12:30 頃	17:30 頃
	試験会場	香蘭女学校	
合格発表		2025年2月1日（土） 21:00 ※変更がある場合は、ホームページで連絡いたします。	2025年2月3日（月） 7:00
		Web発表（マイページより個々に確認してください。） ※校内掲示発表はいたしません。	
入 学 手 続	入学金払込	2025年2月2日（日） 18:00まで	2025年2月3日（月） 20:00まで
		入学金300,000円＋施設設備資金の一部100,000円※ ※クレジットカード決済またはペイジーでの支払い ※2月7日（金） 15:00迄に辞退される方は、施設設備資金の10万円を返金いたします。	
	入学手続書類交付	2025年2月4日（火） 9:00 ～ 12:00 ※香蘭女学校内で受け取ります。	

※詳細はホームページをご覧ください。

Q&A

香蘭女学校についての 質問にお答えします

Q.1



学校の雰囲気はどのような
感じですか。

A 敷地内は豊かな緑に囲まれ、校門を入ると別世界と言ってよい静寂の空間が保たれています。ここで10代の6年間の生徒の心が優しく守られ育まれます。生徒一人ひとりに、どんな時にも居場所がある学校です。

Q.2



今までキリスト教と縁が
ありませんでしたが、大丈夫
でしょうか。

A 大丈夫です。毎朝の礼拝や聖書の授業、奉仕活動などを通してキリスト教の心を学びます。日曜日の礼拝の義務などはありません。ご家庭の宗教は問いません。キリスト教精神に基づく本校の教育方針にご理解、ご賛同いただくことが入学の条件です。

Q.3



平均的な通学時間、居住
地域について教えてください。

A 通学時間や居住地域の制限はありませんが、保護者のもとから通えることが条件です。現在の在校生は、中等科生の68%が東京都（殆どが23区）在住、27%が神奈川県在住（うち横浜市16%、川崎市10%）、千葉県・埼玉県在住は5%です。東京都23区のうち、城南4区在住者は中等科生全体の40%、城東6区在住者は10%です。通学所要時間は平均60分ですが、90分以上かけて通学する生徒もいます。

Q.4



学食はありますか。

A 学食はありません。生徒はお弁当を持参し、教室で食事をします。お弁当の注文をすることもできます。（オンラインで当日9:15まで）売店では、食数は限られていますが、サンドイッチやおにぎり、簡単なお弁当などを買うことも可能です。

Q.5



図書室の蔵書について教え
て下さい。

A 蔵書は和書約6万4,000冊、洋書1万冊です。図書室は、円筒形の構造で、木のぬくもりが感じられる、生徒の憩いの空間です。図書室の2階には洋書の多読コーナーがあります。

Q.6



プールはありますか。

A プールはありません。水泳の授業は行っておりません。

Q.7



制服が新しくなったと聞きました。

A 2023年4月より制服がリニューアルされました。香蘭の伝統・文化を残しつつ、現代の社会状況・気候等に対応した制服をめざし、機能性・耐久性・着心地等において改良しました。全てのアイテムが家庭で洗濯ができ、アイロンかけ不要、抗菌防臭加工が施されています。また、スラックスや盛夏服としてワンピースも導入しました。

Q.8



部活動への入部は必須ですか。

A 部活動への入部は必須ではありませんが、ほとんどの生徒が入部しています。活動日数は部によって異なります。日曜日や祝日も試合や校外での活動の為に出席する場合があります。

Q.9



保護者が学校に行かなければならない機会は多いですか。

A 保護者を1学期に2回、2・3学期に各1回設け、保護者と教員が生徒の様子を共有しています。紫苑の会の役員として、毎年各クラスから総務・厚生・教育の各1名・計3名を選出し、バザー、講演会のお手伝いや機関誌の編集などを、家事や仕事に無理のない範囲でお願いしています。また、保護者対象にパイブルクラスやコース等の希望者の会も設けています。

Q.10



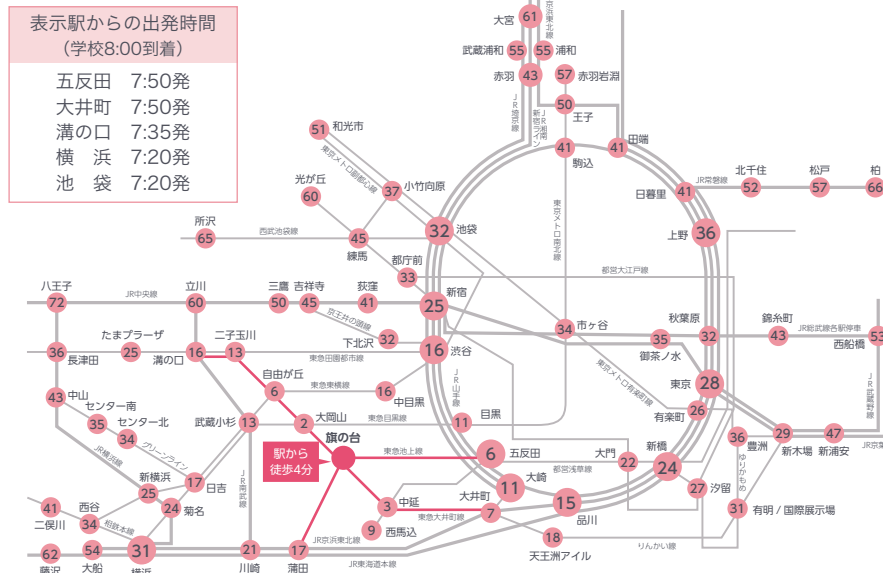
在学中に保護者の転勤で海外に転出した場合、香蘭に戻ることは可能ですか。

A 香蘭女学校に入学した生徒が海外に転出し、その後再び通学を希望する場合、年齢相当の学年への復学ができます。編入試験を行いますので、事前にご相談ください。復学は原則として高等科2年生の7月が最終受け入れになります。

アクセス

※ 00 内に記載された数字は、旗の台駅までの登校時間帯の所要時間の目安です。

主要な駅から本校まで
60 分以内で通学できます。



東急池上線 旗の台駅東口 徒歩5分
東急大井町線 旗の台駅南口 徒歩4分
正門は中原街道に面しております

〒142-0064 東京都品川区旗の台6丁目22番21号

TEL : 03-3786-1136

<https://www.koran.ed.jp/>



Come in to Learn, Go out to Serve. 「来たりて学べ、出でて仕えよ」 ～卒業生からのメッセージ～

明治時代から歌い継がれている香蘭女学校の校歌には「なすべきつとめ つくしつ 薫りをはなて とりどりに」という一節があります。神様から与えられた賜物を活かし、他者を想い、手を取り合い、小さくされた人々の隣人であろうとする。そうするとき、彼女たちに内在する薫りが解き放たれ、「あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、皆に仕える者となり、あなたがたの中で、頭になりたい者は、すべての人の僕になりなさい。」(マルコによる福音書10章43-44節)を実践する人として、世にあることができます。創立以来、1万名を超える卒業生が社会へと巣立っていきました。それぞれの生き方や在り方は異なりますが、香蘭女学校での6年間で彼女たちの中に息づいています。

櫻井 美奈子

103回生
聖路加看護大学(現 聖路加国際大学)看護学部看護学科卒
聖路加国際病院救命救急センター勤務後、現在は専業主婦



香蘭での6年間で与えてくれたもの、それは生きるためのたくさんの問いでした。自分とは何か。生きるとは何か。絆とは何か。幸せとは何か。自分に与えられているものは何か。自分にできることは何か。様々な場面でこのような問いに出会うことができ、問い続けることを支えられ、どのような道も尊重される……それが香蘭での日々でした。

コロナとの闘いが始まったばかりの2020年4月、離職中とはいえ看護師として何かできることがあるのではと聖路加の門をたたき、逼迫したコロナ病棟で3週間のボランティアをさせていただきました。『どんなときも他者に心を寄せ、しなやかに生きる』香蘭での深い問いの先にあった教えは、今も私の確かな原動力です。

竹内 彩乃

111回生
早稲田大学理工学部卒業
東京工業大学大学院総合理工学研究科博士前期・後期課程修了
東邦大学理学部講師



私は、ドイツ留学後、ドイツ企業で日本の再生可能エネルギー事業の開発に携わり、現在は東邦大学で、再生可能エネルギー導入時の地域とのコミュニケーション手法を研究しています。本研究テーマは、企業時代に日本の再生可能エネルギーの発展に必要なだと考えていたものです。

課題を発見し、必要とされている解決策を考え抜く力は、中高時代に身についたと思います。香蘭女学校の良さは自分で考えることができる環境だと思います。生徒に問いを与え、自ら考える材料や時間を与えてくれる先生が多く、たくさんのことに気づくことができました。私も研究者、教育者として、学生の成長につながる問いを投げかけていきたいです。

新倉 瞳

112回生
桐朋学園大学音楽部卒
スイスパーゼル音楽院ソリストコース・教職課程終了
チェリスト



中学3年生の秋「実は音楽高校を受験する」と告白した時の友人たちと先生方の表情は今でも忘れられません。

事実上の別れは、世の中にたくさんあります。それでもその都度受け入れ、出逢えたことに感謝することでようやく前に進める。あのとき、別れを受け入れ応援してくれた皆との出逢いがなかったら、出逢いと別れに溢れたこの人生を愛おしむことができなかったかもしれません。

学年全体が一丸となって優勝した中学3年生の運動会のダンス競技は、今でも舞台へ向かう私を支え続けてくれています。今は一緒に居なくても、誰かと共に何かを成し遂げたり、産み出した思い出は、一生自分の自信となり助けてくれます。

自分の心の軸を育ててくれた香蘭女学校、本当にありがとう。

大津 奈央

113回生
立教大学経済学部経済学科卒
嘶家(落語家)春風亭一花



好きなものを好きだと言う事は勇気がある事です。目立つ生徒ではなかった自分ですが、のびのび学校生活を送りました。穏やかな校風と木々に囲まれた校舎で、自分は何が好きなのか、自分にとって幸福とは何かをとことん考えた6年間でした。

『相手の笑顔に自分は幸福感を得る事』を知り『一生の友』も得ました。香蘭女学校へ入学したから、この職業へたどり着いたように思います。今、毎日が楽しいです。職業柄色々な場所へ出向きますが、OGの皆様、先生方に優しく声をかけていただいております。私も時々、駅のホームで香蘭の制服を見かけると頬が緩みます。

『あなた香蘭生なのね』魔法の言葉です。

笠原 志保

121回生
上智大学外国語学部フランス語学科卒
ストラスブール大学院舞台芸術課程修了
ストラスブール大学芸術文化事業部職員・同大学言語学部日本語学科教員



外国語に苦手意識をもっていた私にとって、ただ単語をなぞるのではなく歴史や芸術を学ぶことで世界を立体的に捉えることのできた六年間の英語学習は異文化と触れ合う喜びを知るきっかけとなり、自分でも気づかぬうちに未来に繋がる大切な軸となっていました。そしてどんな時でも私にじっと寄り添い耳を傾けてくれた先生方、その温かい眼差しを異国の地で学生と関わる仕事をする今、私は折に触れて思い出します。

まだ芽吹いたばかりの自己に戸惑いながらも必死に向き合う十代。そんな私達をいつでも添え木のように支えてくれるこの場所で、伸びやかに自らを育んでください。